

広州日宝鋼材製品有限公司からの出資引き上げについて

当社は、広州日宝鋼材製品有限公司（以下「日宝」）からの出資を引き上げました。

1994年2月、成長が見込まれる中国華南地区の鋼材需要を取り込むべく、三井物産株式会社、万宝電器集団公司との共同出資により、中国広東省広州市で日宝を設立いたしました。

（当初資本金 450 万米ドル、当社出資比率 10%。2007 年 3 月に 1550 万米ドルに無償増資。）

日宝は現地進出の日系企業等へ材料を供給するコイルセンターとして、電磁鋼板、表面処理鋼板のスリット加工、モーター鉄心プレス・焼鈍、ならびに変圧器用斜角鉄心加工事業等を行い、成長を続けました。1995 年 1 月の事業開始から 28 年間、当社は董事、工場長を派遣し、営業協力、工場運営、操業指導、新規設備導入、生産技術向上等で、事業の拡大に大きく貢献してまいりました。

一方で、ここ数年は、日宝を取り巻く中国の事業環境が大きく変化し、当社と日宝との戦略が必ずしも一致せず、当社は加工拠点を深圳深日鋼材有限公司（日鉄物産株式会社出資、以下「深日」）へ移管いたしました。また、銅合金加工拠点については、広州電基資材金属製品有限公司（以下「金属」）を設立し移管いたしました。

本年 2 月に日宝の営業期限が満期を迎えるに当たり、当社はその期限延長には参加せず、出資を引き上げることにいたしました。

当社は今後とも深日と金属を加工拠点とし、中国事業の発展に取り組んでまいります。

以 上